

レ→93 8月

## ここなら間違いなしの スペシャル・ショップ

### ロータリーなら、ここにおまかせ。

藤田エンジニアリング

●〒581 大阪府八尾市太田新町7-202 TEL0729-49-1313

ロータリー車チューニングの関西の雄と言え、やはり藤田エンジニアリングだろう。FDについてもさまざまなオリジナルパーツがすでに発売されており、チューニングには抜かりはない。現在、エンジンルーム内の熱対策を施した新形状のボンネットを開発中とのこと。FDに惚れ込んだ藤田社長のところに気軽に相談に行ってみよう。きっとベストなチューニングが見つかるはずだ。



何台ものFCやFDがチューニングを待つ。「よく相談して進めるべき」と藤田社長。

### トライアルならではの幅広い対応がマル。

トライアル

●〒591 大阪府堺市八下町4丁102-9 TEL0722-54-7039

REVではもうおなじみのトライアルだが、ロードスターだけではなく、FDのチューニングについても着実に進んでいる。これはFDのコンセプト自体を牧原社長が高く評価しているためで、エンジンに関してはノーマルのままでもいくらいとのことだ。ただし、足まわりについてはリアの粘りがもう少し欲しいとのこと。煮詰めていく必要があるとのこと。どんなクルマでもOKのオールマイティさが売りだ。



堺のほか、東大阪にもショップがあるトライアル。お店では常にたくさんのクルマがチューニングを待っている。おなじみ牧原社長は本当に走るのが大好きで、クルマが大好きで、脱力のある話には引き込まれてしまう。また、トライアルと言えば、看板娘のアイちゃんも有名だが、冗談抜きでカワイイからぜひ一度行って自分の目で確認するように。

### コンピュータ・チューンに自信あり。

ウィズ

●〒511 三重県桑名市安永5-367 TEL0594-21-8375

レーシングファクトリーとして活動を続けるウィズだけに、その技術力の高さは特筆すべきものがあり、FDに関しても徹底的に分析は進んでいる。特にコンピュータについては、シミュレーションですべての燃料カットの解析が早い時期に済んでいたというほど、その開発は進んでいる。それもお客さんの要望や走りに応じて、きめ細かくセッティングしてくれるというのがうれしい。



国道沿いにショールームがオープンした。いつも真剣な顔の本社長が相談に乗ってくれる。

## ショップ独自のノウハウがこれだ②

### RE両宮



0-300km/hマシンだけに徹底的に高効率を目指されており、インタークーラーは大型化された上で、バンパー寄りの場所に立てられて配置されている。



ストレートを少しでも速く走るということを目的にしたマシンだけに、シングルターボ仕様とされている。タービンはTE45で、実馬力で約450馬力が達成されている。



こちらは一般的な仕様のノーマル交換タイプのエアクリナー。おなじみのピンクのカラーが鮮やかだ。特にブーストアップ時に効果を発揮するという。

### ユアーズスポーツ



このマシンに使用されているタービンはTE45。ユアーズならではのノウハウで、シングルターボ化されている。これで約450馬力が得られ、気持ちのいい加速が実現されている。



インタークーラーは大型化され、ラジエターの前へ移動されている。このため、冷却性能は飛躍的にアップしているはずだ。ちなみにフロントスポイラーもオリジナルに交換済み。



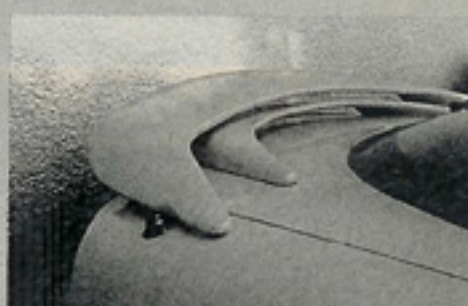
さらにラジエターもその面積が広がられた上で、位置が変更されている。これなら、フロントグリルからの風もよく当たるし、きっとよく冷えるはずだ。

過ぎるスポーツマフラーをノーマルコンピュータと組み合わせると、それだけでブーストが上がりすぎてしまい、セカンダリー側のタービンを壊すことがある。最後に、シングルターボ化について付け加えておこう。はっきり言って、このエンジンの場合、あまりメリットはない。パワーならノーマルのタービンでも380馬力程度までだったら上げられるし、車検のことを考えても、価格のことを考えても一般ユーザーがそこまでやる必然性はないだろう。特にこだわりのある人だけが入り込んでいくスペシャル・チューンだと認識していいのではないだろうか。いずれにしても、FDのエンジンチューンは信頼できるショップを見つけて、よく相談した上で進めていくことが大切だ。ロータリーエンジンのノウハウ、そしてターボチューンのノウハウをキチンと持ったところじゃないと、とりあえずブーストだけ上げて、ハイ、壊れましたということになりかねない。それだったら、ノーマルのままでそれを十分に使いこなすということに集中した方がまだマシンなのである。

## 藤田エンジニアリングのニューパーツ



AFFLUXブランドのFD用フロントスポイラー(5万9000円)。フロントダクトの面積はノーマルと変わらないものの、形状が考慮されたため、冷却効率が上がっているという。



こちらは、同じくAFFLUXブランドのリアスポイラー(12万8000円)。FDのエアールを引き締めるダブルタイプの大型リアスポイラーだ。空気の流れも十分に考慮されている。



FD3 S用フロントパイプ(4万5000円)。形状に問題のあるノーマルの弱点をカバーしたフロントパイプ。抜けの良さが決め手だ。保安基準適合タイプ。



FC3 S用プラグコード(2万2000円)。2本ずつ色分けされたことで、フロント側とリア側の取り違えがなくなる、便利なコード。もちろん性能もアップ。



シフトノブ(8000円)はFDとFCの後期モデルに対応。ノーマルよりも位置が低くなることと、熱が伝わらないことが特徴となる。